

紫野和久傳の桑村会長ら

府あげぼの賞 3人・2団体

京都府は、先駆的に活躍している女性をたたえる本年度の「あげぼの賞」に、京丹後市に食品工房や美術館などを開設し、敷地に森を整備して地域振興に貢献している紫野和久傳（京都市上京区）会長と桑村綾さん（77）ら個人3人と2団体を選んだ。20日に南区の京都テルサで授与式を行う。

個人はほかに、茶道具を手がける千家十職の塗師、十三代中村宗哲さん（53）＝上京区Ⅱと京都大こころの未来研究センター教授の吉川左紀子さん（64）。中村さんは、伝統文化の継承と同時に、他分野の芸術家とのコラボレーションに取り組んでいる。吉川さんは、初代センター長として異分野の研究者が集まって成果を社会に発信する活動を推進した。団体では、国内外の舞台で



桑村綾さん



中村宗哲さん



吉川左紀子さん



京小町踊り子隊プロジェクト

踊りを披露し、和装振興にも尽力しているNPO法人京小町踊り子隊プロジェクト、託児サービス付きのスポーツイベントなどを手がけた京都女性スポーツの会を選んだ。今回は30回目を記念し、府

公安委員長を務めた太平洋（右京区）会長の瀧静子さん（77）、女性管理職の登用を早くから進めた吉忠（中京区）社長の吉田忠嗣さん（80）に特別賞を贈る。

（沢田亮英）



京都女性スポーツの会